



“いいまち”つくる井町です!!

岡崎市議会議員

井町よしたかの“いいまち”ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します!

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所（東レ労組内）TEL:34-2514

A 矢作川地域を流れる一級河川の矢作川と鹿乗川。両河川の流域では東海豪雨及び平成20年8月末豪雨の際、広い地域で水害に見舞われました。

両河川の水害対策の強化は矢作地域に暮らす人々にとって欠かすことはできません。以下に私が市議会の場でおこなった質問のQ&Aをまとめましたので報告します。

矢作川に関するQ&A

Q 矢作川における樹木伐採の計画と実績について伺う。

A 平成21年度に策定された「矢作川水系河川整備計画」及び、「矢作川維持管理計画」において、洪水時の流下能力の確保や、良好な河川環境を保全することを目的に、計画的に実施するとされている。

次に、平成27年から令和元年度までの5か年の実績は、約11万平方メートルであり、概ね、日名橋周辺で実施している。また、今年度については、美矢井橋上流から日名橋までの区間と、県道名古屋岡崎線の葵大橋付近の右岸左岸を合わせて、約56万平方メートルと、大規模なエリアで実施する予定と国から聞いています。

Q 今年度の堤防整備箇所について伺う。

A 矢作川の堤防整備については、平成27年9月の「鬼怒川の堤防決壊」による水害を機に国が策定した「水防災意識社会再構築ビジョン」に加え、平成30年7

Q 矢作川における樹木伐採の計画と実績について伺う。

A 平成21年度に策定された「矢作川水系河川整備計画」及び、「矢作川維持管理計画」において、洪水時の流下能力の確保や、良好な河川環境を保全することを目的に、計画的に実施するとされている。

次に、平成27年から令和元年度までの5か年の実績は、約11万平方メートルであり、概ね、日名橋周辺で実施している。また、今年度については、美矢井橋上流から日名橋までの区間と、県道名古屋岡

崎線の葵大橋付近の右岸左岸を合わせて、約56万平方メートルと、大規模なエリアで実施する予定と国から聞いています。

Q 今年度の堤防整備箇所について伺う。

A 矢作川の堤防整備については、平成27年9月の「鬼怒川の堤防決壊」による水害を機に国が策定した「水防災意識社会再構築ビジョン」に加え、平成30年7

月の「西日本豪雨」による甚大な浸水被害を受けたことを踏まえて策定した「防災・減災・国土強靭化のための3か年緊急対策」に基づき、現在、工事が進められている。

今年度の箇所は、まず、右岸は堤防整備としては、美矢井橋から上流の下佐々木町で約1kmと、洪水時の浸透水の円滑な排水対策として、JR東海道本線から名鉄本線の間の渡町で0.8kmを実施する予定。

次に、左岸は堤防整備としては、JR東海道本線から名鉄本線の間の八帖南町で0.6kmと、洪水時の浸透水の円滑な排水対策として、大門河川緑地下流0.4kmを実施する予定と、国から聞いている。

今後も国に対して、引き続き「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく、改修促進を強く要望していく。

Q 堤防を整備する反面堤防に穴を開けて巣をつくる動物が矢作川にもいるようだが、堤防に巣をつくる動物とその対策について伺う。

A 堤防に巣をつくる動物としては、一般的に、モグラやネズミなどで、近年では、特定外来種であるヌートリアが、急速な繁殖傾向にあると聞いている。

ヌートリアは、特に矢作川を始め、日本の多くの河川で生息が確認されており、生息数の多い地域では、堤防内の土中に巣穴が造られるため、洪水時には、堤防内に水が多く含まれることとなり、結果として、堤防の安全性の低下を招く危険性が指摘されている。

こうした事象から、国としては、日々の巡回パトロールのほか、周辺住民・利用者などからの通報を受けた場合においては、早急に調査を行い、埋めるなどの対応を迅速におこなっており、今後、巣穴が多く発見された場合には、捕獲器などを設置し、駆除に向けた対策を進める考えであると聞いている。

【まとめ】

矢作川では現在、国が策定した「防災・減災・国土強靭化のための3か年緊急対策」に基づいて、河川内の樹木の伐採や堤防整備が進められています。今年度の樹木伐採は美矢井橋上流から日名橋までの区間と、県道名古屋岡崎線の葵大橋付近。堤防整備（右岸）は、下佐々木町と渡町で行われる予定です。

日本多くの河川で生息が確認されており、生息数の多い地域では、堤防内の土中に巣穴が造られるため、洪水時には、堤防内に水が多く含まれることとなり、結果として、堤防の安全性の低下を招く

私も岡崎市及び地元国会議員と協力して進捗状況をフォローします。



鹿乗川に関するQ&A

Q 鹿乗川河川改修の進捗状況及び島坂町の金剣神社跡地に隣接する右岸堤防整備について伺う。

A 現在、安城市内の東海道新幹線下流で工事を実施しているが、拡幅整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査を始め、大型鉄塔・湛水防除の水路の移設などに、相当の時間を要している。今後についても、新幹線交差部の改修方法の協議など多くの課題があり、上流に向けた早期改修は、相当な時間がかかると聞いている。そのため、上流については、当初の改修計画の前段として、現状の上下流のバランスを考慮し、最大限可能な範囲で、時間20mmの降雨対応の河道整備を、残る安城市内及び、島坂町の名鉄本線までの本市内の河川延長約5.2kmについて実施する計画とし、県は事業を進めている。令和元年度までの事業はJR東海道本線から県道岡崎西尾線までの約800mの緊急事業に加え、懸案であった東海道本線交差部の改修についても、今年6月までに整備を終え、約3.0kmの改修が完了し、進捗率は約55%。残る名鉄本線までの約2.2kmについても、引き続き早期整備に着手してもらえるよう県に対し要望をしている。また今年度は、県道岡崎刈谷線下流の、島坂町地内の神明橋から島坂4号橋までの約150mの区間では、一部堤防高が不足していることから、県が堤防整備に向けた用地測量などの業務を実施している。

Q 7月8日の早朝に大和町地内でも道路冠水が発生。大和町には雨水排水路として小望支川などいくつかの支川が通つて最終的には鹿乗川につながっている。大和町を通る各支川がつながる鹿乗川のエリアでは東海豪雨以降暫々定の時間20mmに対応が完了しているが、各支川の能力は東海豪雨以降もアップされてない。小望支川はじめ、各支川を大きくするなどの対策を考えてもらえないか?

A 7月8日の矢作地区の降雨は、時間最大雨量53mmが観測されおり、短時間で見た場合、先の答弁の5年確率相当の降雨の状況であつたと考えている。そのため、矢作地区では、国道1号猫田交差点周辺はじめ、質問の大和町を含むJR西岡崎駅北側周辺などで道路冠水の被害が発生するとともに、本市内では地形的に窪地や低地で浸水が度々発生する地区なども同様の被害が発生しているといつた状況であつた。質問の大和町の雨水排水については、県道岡崎環状線を西に超えた、主に農業用の排水を担う、明治用水土地改良区管理の「小望支川」と呼ばれる小水路で、JR東海道本線や県道岡崎刈谷線と交差後、昭和町の住宅展示場南を抜け、20mm対応で改修された一級河川鹿乗川へ排水されている。この「小望支川」については、改良区所有の農業用の



7月8日 早朝の大和町塗御堂

【まとめ】

鹿乗川の改修は現在、下流の安城市域で行われていますが、上流の矢作地域の改修工事はまだまだ先の見込みです。これまで鹿乗川の流下能力不足により国道1号線北から大和町までの間で頻繁に浸水被害が発生しています。早期に抜本対策が進められることを期待するとともに、排水路切り回し等被害減少につながる整備の実現に向け、フォローを続けてゆきます。

排水路として整備されているため、宅地化された地域の雨水を受け入れるには、能力的に不足していると同時に、鹿乗川が暫々定整備であり、先日の降雨では満水状態であり、支川からの排水が円滑に行えない状態。今年7月の九州「球磨川の水害」などでも検証された、「バックウォーター現象」と呼ばれる、本川の水位の影響で支川の水位上昇が発生するといった状況があり、洪水時には、住宅地の排水が円滑に行われにくい状況と考えている。当該地区の排水の抜本的な対策としては、鹿乗川本川の本格改修と、それと整合した支川の能力アップが必須となるが、現状、安城市内での改修に相当の時間を要すことから、当面の対策として、隣接する排水路への切り回しの可能性を調査するなど、早急な対応が可能で、かつ即効性のある整備について、地域の皆様のご意見など伺いながら検討を進めてまいりたい。

井町よしたか 連絡先



HPはこちら

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口1番地 東レ労組内

TEL: 0564-34-2514 FAX: 0564-34-2517

自宅 〒444-0931 岡崎市大和町字塗御堂24-6

TEL: 070-5253-4192 FAX: 0564-32-4192

E-mail: yimacchi@m5.catvmics.ne.jp

ブログ: <http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



政治に参加しよう!

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。